

だいたい 議会だより

令和2年
2/1
第162号



太宰府市議会で初となる、
「**学生との意見交換会**」を
開催しました。

※関連記事は 45P をご覧ください。



議会を傍聴してみませんか!!

3月定例議会の日程(予定)

開始時刻の表示がない会議の
開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	木	土
2/23	24	25	26	27	28	29
			本会議 提案理由説明 本会議終了後 予算特別委員会		本会議 質疑・委員会付託	
3/1	2	3	4	5	6	7
		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会		
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)		予算特別委員会 午後2時開始	
15	16	17	18	19	20	21
	予算特別委員会	予算特別委員会 (予備日) 午後2時開始		本会議 報告・質疑 討論・採決		

12月定例議会リポート 38P
一般質問(個人質問) 40P
学生との意見交換会 45P
第6回意見交換会報告 46P
行政視察報告 48P

**本会議は51名、委員会は
12名まで傍聴できます。**

予約の必要はありませんので、
どうぞお気軽にお越しください。

条例改正

- ◆太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
災害弔慰金の支給等に関する法律等の改正に伴うものです。
- ◆太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について
令和元年8月7日の人事院勧告に伴い、特別職、市議会議員、特定任期付職員及び一般職の給与改定を行い平成31年4月1日から適用するものです。この改正に伴う補正予算も組まれています。

原案可決

原案可決

補正予算

- ◆一般会計補正予算(第5号、第6号)
歳入歳出それぞれ5億7,490万円を追加し(人事院勧告に伴う増額補正を含む)、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ261億6,206万円とするものです。

原案可決

費目	歳出増額補正の主なもの
総務費	総合企画推進費(500万円) (仮称)時の旅人プロジェクト実行委員会補助金
民生費	障がい者自立支援給付事業費(9,849万4千円) 主に共同生活援助、グループホームのサービス等の費用 障がい児通所支援給付関係費(7,950万円) 主に障がい児の放課後等デイサービスなどへの通所支援サービス費用
農林水産業費	林業用施設整備費(406万5千円) 治山ダムの老朽化した暗渠管更新の設計費用
教育費	特別支援学級運営費(313万9千円) 4月から増加予定の特別支援学級に必要な備品や消耗品の購入費用 小学校管理運営費(740万円) 水城小学校校舎増築に係る消耗品や備品の購入費用 中学校管理運営費(641万9千円) 学業院中学校及び太宰府西中学校の校舎増築に伴う消耗品や備品の購入費用 オリンピック関係費(130万1千円) 本市における聖火リレー実施(5月12日)に伴う交通規制周知等の予告看板やチラシ作成等費用
災害復旧費	災害復旧関係費(1,840万1千円) 平成30年7月豪雨による崖崩れ復旧に関する費用
公債費	公債償還元金(9,000万円) 市債の一部繰上償還をするため

- ◆国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
はり・灸助成金及び保険税還付金の不足、国、県負担金の超過交付に係る返還などにより、歳入歳出それぞれ1億802万1千円を追加し、予算の総額を73億2,139万6千円としました。
- ◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
平成30年度に概算交付を受けた高齢者医療制度円滑運営事業費補助金の確定による精算返還金により、歳入歳出それぞれ12万4千円を追加し、予算の総額を12億6,619万6千円としました。
- ◆介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
人事院勧告に基づく職員給与の改定及び平成31年4月の人事異動等により、歳入歳出それぞれ36万7千円を追加し、予算の総額を52億3,454万5千円としました。
- ◆水道事業会計補正予算(第1号)
渇水のため山神水道企業団からの受水が一部制限されたことに伴い、井戸等の自己水源を活用したことによる動力費等を増額しました。
- ◆下水道事業会計補正予算(第1号)
人事院勧告に基づく職員給与の改定及び平成31年4月の人事異動等により、歳入歳出それぞれ678万8千円を追加しました。

原案可決

原案可決

原案可決

原案可決

原案可決

全会一致で可決した議案

案件	議案番号	案 件 名	議決結果	案件	議案番号	案 件 名	議決結果
1	議案第68号	太宰府市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	14	議案第81号	太宰府市体育センターの指定管理者の指定について	可決
2	議案第69号	財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について	可決	15	議案第82号	太宰府市男女共同参画推進センタールミナスの指定管理者の指定について	可決
3	議案第70号	市道路線の廃止について	可決	16	議案第83号	太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定について	可決
4	議案第71号	市道路線の認定について	可決	17	議案第84号	太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
5	議案第72号	区域外道路の認定の承諾について	可決	18	議案第85号	令和元年度太宰府市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
6	議案第73号	大宰府展示館の指定管理者の指定について	可決	19	議案第86号	令和元年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
7	議案第74号	水城館の指定管理者の指定について	可決	20	議案第87号	令和元年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
8	議案第75号	太宰府市文化ふれあい館の指定管理者の指定について	可決	21	議案第88号	令和元年度太宰府市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
9	議案第76号	太宰府市民図書館の指定管理者の指定について	可決	22	議案第89号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
10	議案第77号	太宰府市いきいき情報センターの指定管理者の指定について	可決	23	議案第90号	令和元年度太宰府市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
11	議案第78号	太宰府市立北谷運動公園の指定管理者の指定について	可決	24	議案第91号	令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
12	議案第79号	太宰府市立大佐野スポーツ公園の指定管理者の指定について	可決	25	議案第92号	令和元年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
13	議案第80号	太宰府歴史スポーツ公園の指定管理者の指定について	可決				

陳情・請願

1	陳情第10号	日本政府に香港の「自由」と「民主主義」を守る行動を求める要望書	総務文教常任委員会に送付
2	陳情第11号	「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに「福祉医療制度の実施に伴う国保庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情書	環境厚生常任委員会に送付
3	陳情第12号	水城小学校工しペーター設置に関する陳情書	総務文教常任委員会に送付

12月 定例議会レポート

令和元年第4回定例会を11月29日から12月17日まで19日間の会期で開催し、人事案件1件、財産取得1件、市道路線廃止1件、市道路線認定2件、指定管理11件、条例の一部改正2件、補正予算7件の審議を行いました。主な審議内容をお伝えします。

人事

- ◆太宰府市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
令和元年12月24日付けをもって任期満了を迎える教育長 樋田 京子氏の再任について同意しました。

同意

財産の取得

- ◆財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について
太宰府市緑地保護地区内大佐野緑地公有化事業として、土地15筆、2万5,467平方メートルを4,991万5,320円で買収するものです。

可決

市道路線の廃止・認定等

- ◆市道路線の廃止について
向佐野の「芹田線」について、廃止されたJ Rの踏切の軌道部分を分筆しJ Rに払下げをするため路線を廃止するものです。
- ◆市道路線の認定について
「芹田線」「芹田4号線」について、廃止されたJ Rの踏切の軌道部分の払下げを行うため、その前後の路線の再認定を行うものです。
- ◆区域外道路の認定の承諾について
筑紫野市道「小鳥持・沼線」の本市行政区域内(梅ヶ丘二丁目)における区域外認定について承諾依頼があったものです。

可決

可決

可決

指定管理者の指定(令和2年度から3年間)

- ◆大宰府展示館の指定管理者の指定について
「公益財団法人古都大宰府保存協会」を指定するものです。
- ◆水城館の指定管理者の指定について
「公益財団法人古都大宰府保存協会」を指定するものです。
- ◆太宰府市文化ふれあい館の指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府市民図書館の指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府市いきいき情報センターの指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府市立北谷運動公園の指定管理者の指定について
「一般社団法人太宰府市体育協会」を指定するものです。
- ◆太宰府市立大佐野スポーツ公園の指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府歴史スポーツ公園の指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府市体育センターの指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府市男女共同参画推進センタールミナスの指定管理者の指定について
「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団」を指定するものです。
- ◆太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定について
「社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会」を指定するものです。

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決



問 みんなで遊べる
歴史スポーツ公園にしたい
門田 直樹 議員

Q 不適切な利用状況が依然として続く太宰府歴史スポーツ公園に関して3点伺う。

- ①公園内に倉庫を置いてある団体と、その撤去や利用方法について協議は行ったのか。
- ②芝生の剥ぎ取りやフェンスの毀損は、太宰府市公園条例に定める禁止行為に当たると考えるが、禁止行為の当事者を特定する努力を行ったのか。
- ③市民が利用できない状態の都市公園は異常である。公園の「市民開放日」とは何なのか。

A 部長 ①撤去についての協議は継続していますが、利用方法の適正化については現在のところ協議を行っていません。

②現地確認や関係機関等への相談など、できる限り当事者の特定に努めています。経年劣化によるものか、禁止行為によるものかを判断することまではできていません。

③運動施設の占める面積は法律が定める100分の50の範囲内にあり、市民が利用できない都市公園との指摘には当たらないと認識しています。「市民開放日」とはスポーツ団体が多



太宰府歴史スポーツ公園

全質問項目
◇太宰府歴史スポーツ公園について



問 少人数学級拡大の見通しを示せ
神武 綾 議員

A 教育長 35人以下学級では、児童・生徒一人ひとりに目が届き、個に応じたきめ細やかな指導を行う事が可能になります。一定の効果があると認識しております、本市でも小学校2年生まで35人以下学級としています。

今後の見通しですが、少人数学級の拡大はクラス数の増加に繋がります。県下全体の教員不足、市の財政負担の増加、学校施設の整備が必要になるなど課題もありますので、課題を整理しつつ検討したいと考えています。



全質問項目
◇小中学校の35人以下学級の拡大について
◇四王寺山史跡めぐり遊歩道の整備について
◇中学校完全給食実施について



問 学校教育の現状と課題
徳永 洋介 議員

Q 学校教育にはさまざまな課題がある。諸外国に比べ予算は少ない。教職員数は増えない。教職員は過労死ラインを越える多忙に苦しむ。本市ではどうか。学校教育の状況と課題について7点伺う。

- ①市の小中学校教育予算
- ②教職員の早期退職者・病気休職者数
- ③本市の不登校数、いじめ件数
- ④41人以上学級数の有無
- ⑤タイムカード導入で判明した教職員の超過勤務実態
- ⑥教員の多忙化の要因
- ⑦教職員の働き方改革は

A 部長 ①小中学校の教育費予算

には校舎等維持管理の投資的経費と学校運営に係る経常経費があり、単純に比較はできませんが、10年前は5億、昨年度は10億円です。

②過去5年間、早期退職者は5人前後、病気休職者は10人前後です。

③不登校の出現率は、10年前に比べ5年前は1.06、昨年度は1.49と増加傾向です。

④基準を超える学級はありません。

⑤超過時間の平均は、小中学校で28時間から47時間、中学校で46時間から54時間です。

⑥複数の要因が考えられ



全質問項目

◇学校教育の現状と課題・「教職員の働き方改革」について



問 危険が潜む交差点
長谷川 公成 議員

Q 高雄交差点について伺う。

①県道筑紫野筑穂線から高雄交差点に向かう際、右折レーンはあるが、右折の矢印信号はない。そのため朝夕のラッシュ時などに渋滞を招いている。国道に通じる交差点には必ずと言っていいほど右折信号がある。早急な設置が望まれるが見解を伺う。

②高雄中央通り方面からの青信号時間が非常に短く、一度に2、3台しか進めない。青信号時間を長くすることが望まれるが見解を伺う。



高雄交差点

全質問項目

◇高雄交差点について
◇指定学校変更の許可要件について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



さかい

堺

剛 議員

問 地域共生社会の実現は

Q

社会構造も人々の暮らしも変わり、人口減少の波は経済の担い手不足、空き家、空き店舗などとして顕在化している。そこで3点伺う。

①多様化する市民ニーズに即した地域づくりをどのように図っていくのか。

②地域住民同士で支え合う関係性を育成・支援する制度を検討しているか。

③地域の課題を包括的に受け止める場としての総合的相談支援体制づくりが急務。地域包括ケアシステムの構築・整備をどうするのか。

A

部長 現役世代1・5人が65歳

以上の高齢者一人を支える時代、高齢者のうち85歳以上が3割を占める時代がやって来ます。

①第三次地域福祉計画では、自助、互助、公助に加え地域の中で支え合う共助の4つを基本理念として重視しています。

②地域活動の活性化、共生の理念の周知を図り、地域を支える仕組みづくりと人づくりを支援していきます。

③各担当部署が個別計画に基づいて施策を進めている現状ですが、今後連携して中学校区を圏域とする包括的な支



援体制づくりに向かいます。

全質問項目

◇本市の地域共生社会について



はらだ

原田

久美子 議員

問 学校施設のバリアフリー化を図れ

Q

教育基本法及び学校教育法が改正され、国と地方公共団体は、障がいのある者が、その障がいの状態に応じて十分な教育を受けられるよう、教育上必要な措置を講じなければならない。

そこで、市内の小・中学校のエレベーターの設置状況と、今後の整備計画について伺う。

A

部長 市内小・中学校11校中8

校にエレベーターが設置されています。水城小学校、太宰府東小学校、太宰府東中学校が未設置です。エレベーターの未設置校において、日常的に歩行が困難な児童・生徒等が在籍している場合は、必要に応じて特別支援教育支援員を配置して、当該児童・生徒等の学校生活をサポートするなど、その時点で可能な限りの支援を行っているところですが、

今後の整備計画につきましましては、学校施設の状況やインクルーシブ教育推進の観点から、必要に応じて検討していきたい



と考えています。

全質問項目

◇学校環境の整備について
◇災害時における授乳の支援について



きむら

木村

彰人 議員

問 広聴の成果をみんなのものに

Q

広聴活動とは、市が市民の意見を直接に収集し、分析を加えて施策に活かすものである。個々の意見に適切に回答するのは当然としても、多くの意見が偏りなく集まるように広報に努め、収集した意見を適宜分類し、庁内・市内で共有できるデータベースとしていくことが大切となる。市民意識調査、市長と語る会、意見箱について、市の取り組みを伺う。

A

理事 市民意識調査の回答率は

比較的高く、現下では最善を尽くしていると考えられています。年齢層による回答率の差などの課題も

ある一方、総合計画の指標として用いてもいるので、バランスを取りつつ検討していきます。市長と語る会や意見箱で届けられた意見を分類整理することまではしていませんが、語る会でのアンケートの整理は行っています。

市長 市民から多く寄せられた意見について、最終的には予算に反映させるよう努めています。現在も様々な媒体で都度の回答に努めています。データベース化も大切な観点です。広聴の成果を分かりやすく示せるよう心掛けてまいります。



市民の意見箱

全質問項目

◇広く市民の声を集める広聴活動について
◇市長の選挙公約「7つのプラン」の35項目の進捗状況について



ふじい

藤井

雅之 議員

問 県道だろうつと市民にとっては道

Q

県が行う土木工事に密接に関係する道路や砂防などもある。県の事業は近隣自治体にまたがるため、区間が長くなったり、複数年度におよぶことも多々ある。道路工事などの事前説明があれば、側溝の整備をあわせてお願いしたいなど、要望を伝えられたのという市民の声を聞いた。

県が行う土木工事の説明主体は県の担当だが、市としても周辺住民への周知について何らかの対応が必要と思う。見解を伺う。

A

部長 県による太宰府市内の土木工事は、那珂県土整備事務所が実施されます。住民の皆様の生活等への影響の範囲に応じて、周知方法（住民説明会、自治会隣組への回覧、チラシの配布、看板設置など）、周知の時期や対象者などを地元の自治会長や関係者と相談の上決めていただき、工事内容、場所、期間、時間帯、工事責任者、問い合わせ等、工事に関する詳細を対象者に周知していただいております。今後も引き続き、丁寧な周知に努めていただくよう要望してまいります。



県道福岡日田線鷺田橋（都府楼団地郵便局付近）

全質問項目

◇県が行う土木工事の住民への周知について
◇公共施設での学習スペースの充実について

一般質問の詳しい内容につきましては会議録をごらんください。(公民館・図書館に2月末頃に配置されます)

Q クラウドファンディングや返礼品の工夫などにより、本市のふるさと納税寄附額は当初の想定を上回る規模となっている。他方、ブームに沸いた令和元年が再び訪れることはなく、挑戦的な試みも放置すれば一過性で終わりがねない。そこで3点伺う。

①今年試みたふるさと納税の実験をどのように発展させる考えか。

②甲子園以外のスポーツや文化活動にもガバメントクラウドファンディングを用いる考えか。

③中学校給食導入のような市民に還元される事業にクラウドファンディングを用いる可能

A 理事 ①本市のふるさと納税をワンランク高みに上げるべく、令和発祥の都としての新たな価値を活かし、寄附者と自治体が共に喜びあい地域の発展につながる流れを全国に広めるトップランナーを目指していきます。

②高校サッカー選手権大会に出場する筑陽学園の応援に活用する予定であり、様々な場面で活用していきたいと考えています。

③中学校給食のあり方について議論を重ねているところであり、現時点でのお答えは難しい



問 ふるさと納税を何に使うのか

笠利 毅 議員

性はあるか。

全質問項目

◇ふるさと太宰府応援寄附について



令和記念モニュメント

学生との意見交換会



10代・20代の意見を伺う取組みとして、市内5大学の学生と意見交換会を行いました。4カ国の留学生を含む27名に参加いただき、普段はなかなか接点のない学生のみなさんと議会が、太宰府のまちづくりについて意見交換を行いました。

今後も広い世代の意見を反映できる議会になるよう努めてまいります。

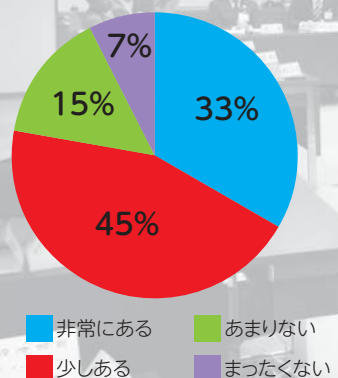
開催年月日 令和元年11月19日(火) 18:00～

会場 太宰府市役所5階 会議室

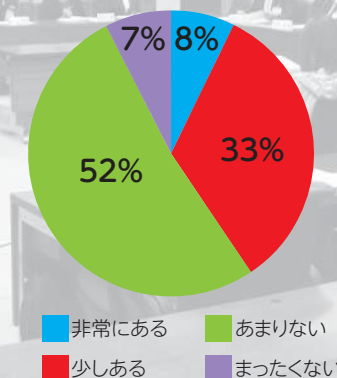
参加者 27名(4カ国5名の留学生を含む)

参加大学 九州情報大学、筑紫女学園大学、福岡こども短期大学、福岡女子短期大学、日本経済大学

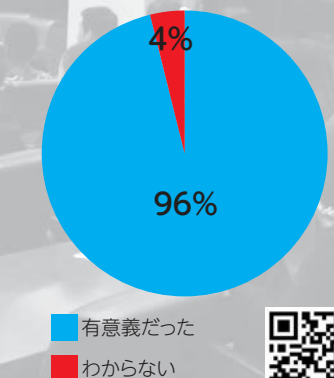
●地域に関心はありますか



●市議会に関心はありますか



●参加してみたいかがでしたか



●学生との意見交換の詳しい内容は→



Q 市内事業者の大部分を占める中小企業、小規模事業者の継続的な活性化は、本市のまちづくり、将来に向けて必要不可欠な課題だが、事業の承継の困難はその足かせとなるだろう。そこで3点伺う。

①事業者の真に求める支援策を把握し、支援体制の充実を図る必要があるが、見解は。

②ものづくり、サービス補助金や国の法制度の周知や情報提供は。

③(仮称)中小企業振興基金本条例の制定を行うべきと考えるが見解は。

A 部長 ①中小企業等の支援策として商工会とも連携しています。ワンストップ相談窓口の設置や創業塾の開催なども行っています。中小企業支援、地域経済の振興に向けてさまざまな取り組みを行っています。

②商工会を通じた情報提供を行っており、補助金採択件数は県内でトップクラスの実績となっています。

③なにより施策の実施状況が重要ですから、太宰府市にふさわしい中小企業振興条例について検討していきます。

全質問項目

◇中小企業の活性化、振興政策について

◇高齢ドライバーへの支援策について



問 市内業者支援策の充実を

小富 真由美 議員

Q ①今年度で第1期太宰府市総合戦略は、その5年の期間を終える。総括と評価を伺う。

②第2期総合戦略が担う役割と他の計画との整合性、策定スケジュールについて伺う。

③本市の人口動態をみると、人口上昇はますます鈍化し予測が示す通りピークに近づきつつある。人口対策として、地方創生移住支援事業並びに、地方創生企業支援事業へ参入するのか伺う。

A 理事 ①第1期総合戦略に定めたKPIのうち約半数の項目で目標を達成したは目標に向けて進展がみられます。

②国が定める4つの基本目標、産業・雇用、移住・定住、結婚・出産・子育て、地域づくり・連携に、太宰府市としての視点を加味しつつ、魅力ある地域、活力ある郷土をつくるための施策を重点的に定める予定です。専門的な知識を有する方が集まるまちづくりビジョン会議で議論を重ねています。

③本市への移住支援事業等の取組については、今後検討をしていくとともに、第1期に続き、商工会と連携して創業支援、産業振興に

全質問項目

◇太宰府市総合戦略の策定について

総合戦略



も積極的に取り組んでいきます。



問 住みたい町へのビジョンを示そう

柳原 荘一郎 議員

みなさんの声を活かせます！

皆様からいただいた、貴重なご意見・ご提案のほんの一部をご紹介します。
みなさんの「声」を、しっかり議会と市政に活かしてまいります。



● 議会・議員について

- ・ 議会は、市長・執行部を監視することが仕事であるとする。歴史スポーツ公園の管理と利用に関する問題で、議会の権能である調査権を使うなどして、議会として対処すべきではないのか。
- ・ 議員視察での成果を、公表すべきではないか。
- ・ 市民からの提言を、一箇所でまとめて聞き取るような窓口組織があればよいのに。
- ・ 二元代表制の機能を発揮してほしい。学習、問題認識、提起が重要です。

● 意見交換会について

- ・ 議会からの回答は、会場からの質問の論点を理解した上で、的確に答えていただきたい。
- ・ タイムスケジュール優先で、意見の交換の場になっていない。
- ・ 議会側の説明が長く、意見交換自体の時間が短かった。
- ・ 議会の「確認する」という答弁に関して、その後の進捗状況の報告を徹底してほしい。
- ・ 前回の意見交換会と大して変化がない。市民の意見は市政に反映されているのだろうか。
- ・ 午前も午後も、全体での意見交換会とすべきです。

● 平成30年度決算の説明について

- ・ 決算の説明を聞いてガッカリ。これで決算をしっかり審査したといえるのだろうか。
- ・ 決算審査までに、議会は十分な審査準備ができているのか。
- ・ 実生活とかけ離れた大きな金額なので、内容が分かりづらかった。
- ・ もっとゆっくり、分かり易く、配布資料に沿って説明して欲しかった。

● 「豪雨災害への対応」について（総務文教常任委員会との意見交換）

- ・ 災害が激化化する中、市や議会はもっと災害への危機感を強く持つべきだ。
- ・ 県の災害危険箇所の想定には限界があるので、市が補う体制を作してほしい。
- ・ 災害に備えた水の備蓄は、中学校区毎に3日分を備蓄してほしい。

● 「老いも若きも暮らしやすいまちを目指して」について（環境厚生常任委員会との意見交換）

- ・ 地域包括支援センターの2箇所目が準備中と聞けが、もっと増やしていく方向で議論してほしい。
- ・ 地域包括支援センターは、相談を受ける機能以上に、地域福祉の中心拠点として活動してほしい。
- ・ 市長の公約に関して、委員会が所管する項目の進捗状況を、どう評価しているのか。

● 「上下水道」について（建設経済常任委員会との意見交換）

- ・ 松川の上下水道事業センターは遠くにあって不便なので、本庁舎に上下水道関係の窓口を設けてほしい。
- ・ 上下水道設備の老朽化対策に関して、計画的な維持管理・修復を進めてほしい。

第6回意見交換会 の詳しい内容については、
太宰府市議会のホームページをご覧ください。

「第6回太宰府市議会意見交換会報告」は
こちらから →



午前の部 プラム・カルコア太宰府会場の様子

太宰府市議会 第6回 意見交換会

（公財）古都太宰府保存協会 梅花の宴再現ジオラマ 製作者 山村延博



令和元年11月17日に、第6回となる太宰府市議会意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会は、午前の部・午後の部の2回、別会場で行いました。平成30年度決算の説明のあと、ご来場の皆さまと意見交換を行い、延べ56名の方々にご参加をいただきました。

市議会一同、心より御礼申し上げるとともに、貴重なご意見を頂きました皆様に感謝申し上げます。

● 実施状況

開催年月日 令和元年11月17日（日曜日）

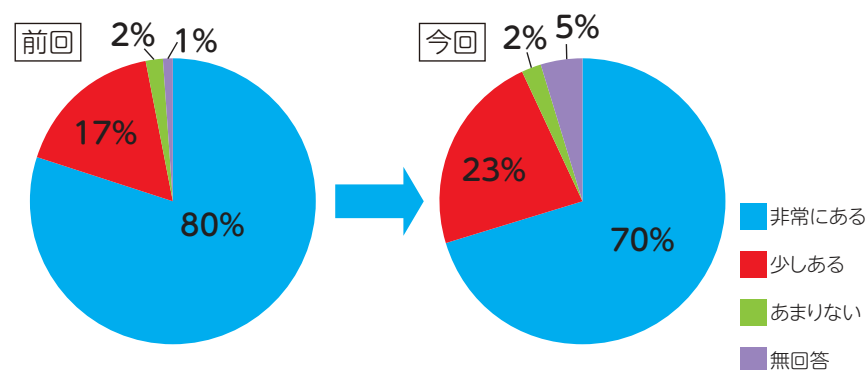
◆午前の部 10時から12時
会場 プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館）4階 多目的ホール/2階 研修室
参加者 30名
内容 平成30年度決算の説明 と 常任委員会毎のテーマについて意見交換

◆午後の部 14時から16時
会場 とびうめアリーナ（太宰府市総合体育館）剣道場
参加者 26名
内容 平成30年度決算の説明 と テーマを設けない意見交換

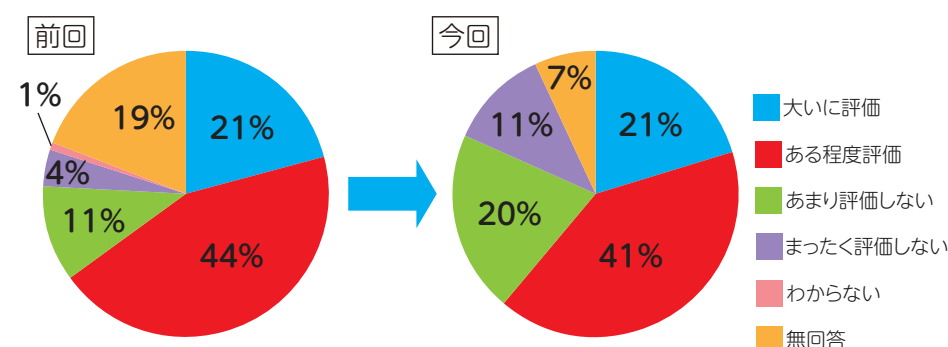


● 意見交換会アンケート結果（抜粋）

● 市議会に関心はありますか？



● 今回の意見交換会を評価しますか？



議会への関心は、「非常にある」が、前回より10ポイントも減少してしまいました。

意見交換会の評価は、「評価する」はほぼ同じですが、「評価しない」が大きく増加しました。

この結果を真摯に受け止め、意見交換会のみならず、なにより、議会活動の不断の活性化が必要であると捉えています。

より一層、市民の皆様に信頼される議会を目指して、これからも頑張ってまいります。

建設経済常任委員会

日程:令和元年10月2日(水)～10月4日(金)

●DIY型空き家リノベーション事業について(岐阜県各務原市)

家を手放さず活用したい所有者と家を購入しないでDIY(日曜大工)で自分の思うとおりに改装したい借主がマッチングして契約を交わし、市・民間・大学・金融機関の四位一体でサポートする画期的な事業の視察を行いました。

●公民館連携による移動販売事業について(愛知県春日井市)

市・観光コンベンション協会・地元スーパーの三者連携により、2015年4月から移動スーパーマーケット「道風くん」事業をスタート。

300種類の商品を積み込み、買い物弱者の方々を対象に6地区を週2回巡回して、行く先々で高齢者を中心としたコミュニケーションの場となっている先進地の移動販売の視察を行いました。

●やきものの散歩道地区景観計画について(愛知県常滑市)

平安時代末期から水道事業に土管を活用し、日本全土の受注で発展した常滑市は、日本六古窯の一つとして2017年日本遺産に認定され、窯業で栄えた町並がそのまま残っており、現在、やきものの散歩道地区景観計画を策定し景観保全に努力されている。

庁舎での学習を終え、やきものの町並み現場の視察をさせていただきました。



各務原市

総務文教常任委員会

日程:令和元年10月16日(水)

●学校施設整備について(福岡市立住吉小・中学校)

統合前の2小学校、1中学校では小規模校化や老朽化など様々な課題を持っていましたが、施設一体型の連携校とすることで同時解決を図ると共に、教員間の情報共有や指導の充実など新たな教育的効果を生み出すことに成功しています。



福岡市立住吉小・中学校の地下プール

●自校方式の中学校給食について(糸島市立志摩中学校)

糸島市では、方式は異なるが全ての小中学校で完全給食を実施する中、第一次産業が盛んな地域特性を食育に活かすなど独自の取り組みと導入経緯について研修を行いました。志摩中学校のランチルーム制は残食率の低減などに大きな効果を発揮しています。

環境厚生常任委員会

日程:令和元年11月13日(水)～11月14日(木)

●丸亀げんきっ子夢プランについて(香川県丸亀市)

丸亀市では、市全体が共通の視点を持って子どもたちに関わることが出来るように「丸亀げんきっ子夢プラン」を策定しています(平成26年3月)。

各施設の特徴を保ちながら、幼稚園・保育園の相互研修が進むなど成果も上がっていました。

今後は小学校へのアプローチカリキュラムの作成にも取り組もうとしています。



三豊市(可燃ごみが固形燃料になります)

●環境に優しいゴミ処理方式(資源化)について(香川県三豊市)

三豊市では、「ゴミを資源として循環させる」ため、コンポスト方式でゴミを再資源化し、近在の工場で石炭代わりの燃料としています。民間企業への委託ですが、市の補助はありません。

市のごみ収集方法、地域の経済状況も踏まえた制度設計で、市民にも無理なく受け入れられています。

◆編集後記◆

初めて迎える令和の春となりました。私たち太宰府市民にとって、今年の梅の花はひととき美しく、薫り高く思えるのではないのでしょうか。

私も議会広報特別委員会、任期4年間の折り返し点を迎えました。この2年間は、多くの皆様に読んでいただけた、何より分かりやすい紙面作りに努めてまいりましたが、まだまだ改善すべき部分がございます。これからの後半も、さらなる紙面の充実に向けて努力してまいります。

さて、これからは三寒四温を繰り返しながら、次第に春めいてくる良い季節です。早春の梅の便りに誘われて、市内各所の梅園を訪ねてみるのはいかがでしょう。古の「梅花の宴」の雰囲気を、感じる事ができるかもしれませんよ。

(彰)

議会広報特別委員会

委員長	原田久美子
副委員長	木村彰人
委員	藤井雅之
委員	橋本健
委員	入江寿
委員	笠利毅
委員	柳原莊一郎